

要請番号 (JL76623B04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ジョージア	G157 日本語教育		個別	交替 2代目	2年	・ 2024/2 ・ 2024/3 ・ 2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・科学省

2) 配属機関名 (日本語)

イリア大学

3) 任地 (トビリシ(トビリシ首都圏)) JICA事務所の所在地 (トビリシ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

イリア大学は2006年に6つの教育機関が統合して設立された国立大学である。大学には4つの学部(芸術科学部、自然科学工学部、ビジネススクール、ロースクール)があり、約15,000人の学生が学んでいる。大学では外国語の学習にも力を入れており、学生は英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、スウェーデン語などのヨーロッパ言語と、日本語、中国語、韓国語、アラビア語、トルコ語などのアジア言語の授業を受講することができる。日本語コースは2017年に開設され、毎年20名程度の学生が日本語コースを選択している(A1、A2、B1、B2)。現在2023年1月に赴任した日本語教育隊員が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、単なる語学の学習にとどまらない、その国の文化を学ぶことまでを見据えたコースの拡充を目指している。その意味で、協力隊員による日本紹介イベントなどへの期待は大きい。同配属先のみならず、ジョージア人教師が中心の当地の日本語教育界にとって、ネイティブの話者である指導者は大変貴重な存在である。現在活動中の青年海外協力隊にも、多くから協力依頼の声がかかっている。配属先を起点として、他機関との連携を積極的に図り、ジョージア全体の底上げ、すそ野拡大を目指す原動力として協力隊員への期待は大きい。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚と協力して以下の活動を行う。

1. 学生に対して日本語の授業を実施する(主に会話を中心とした授業を担当する予定)。
2. 教材やカリキュラムの必要に応じた見直し。
3. 日本文化紹介イベントの企画、実施。
4. 学外関係者との連携を強化し、合同イベントやワークショップの企画、実施。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

『みんなの日本語初級』、『BASIC KANJI BOOK』、コピー機、プロジェクター。『みんなの日本語ⅠⅡ』がメインテキスト。

4) 配属先同僚及び活動対象者

・ 配属先同僚

東洋学研究所所長 教授 男性50代

准教授 男性30代、日本語教授経験6年、日本留学で博士号取得

・活動対象者:
配属先大学生(1コース5～20名)及び他機関の日本語履修者

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（日本語教育に関する資格）

[学歴]：（大卒） 備考：大学で教えるため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：経験に基づく指導・助言が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖湿潤気候） 気温：（-8～39℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

生活使用言語はジョージア語(着任後現地語学訓練を実施)となる。[大学WEBサイト](#)

【類似職種】